

札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

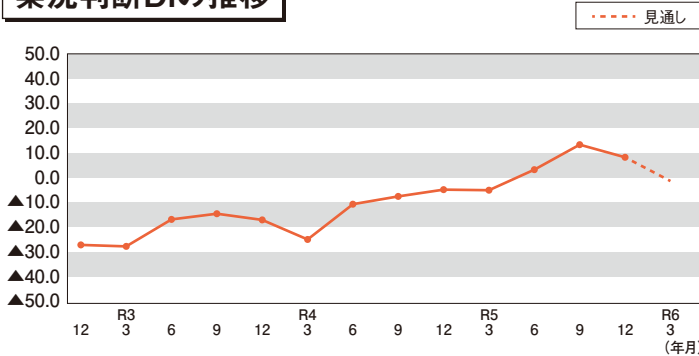
調査の概要

- 調査時期：令和5年12月1日～7日
- 調査対象：札幌圏(札幌、石狩、空知) 後志圏(後志、渡島)
- 対象企業数：当金庫のお取引先340社
回答数340社(札幌圏235社・後志圏105社) 回答率100%
- 分析方法：DIを中心とした分析。
DI=「良い・増加・上昇した先の割合」-「悪い・減少・下降した先の割合」
DI>0→良い・増加・上昇 DI<0→悪い・減少・下降
- その他：「2024年(令和6年)の経営見通し」について
※DI(景気動向指数)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

全業種総合

札幌圏・後志圏

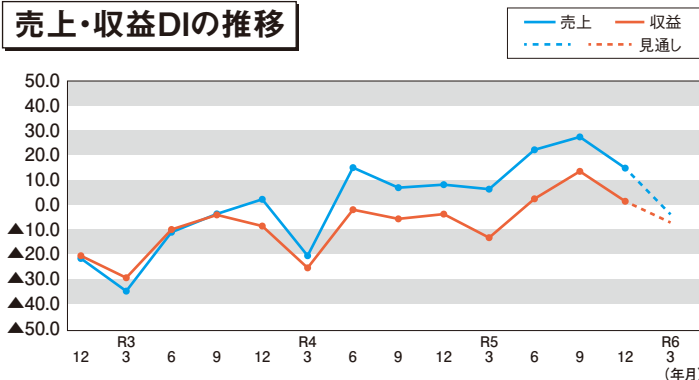
業況判断DIの推移



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は8.2と前期から5.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.6ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



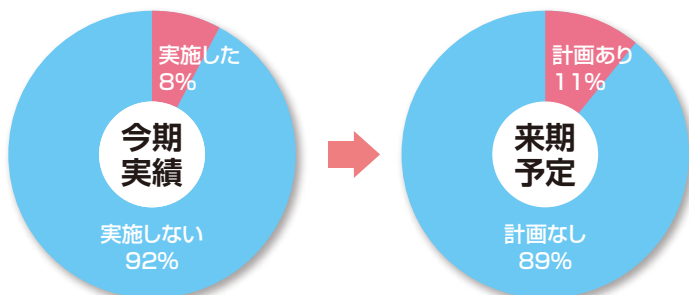
○売上DI～低下↓

- ・今期は14.8と前期から12.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から18.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は1.4と前期から12.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.6ポイント低下する見通し。

設備投資動向

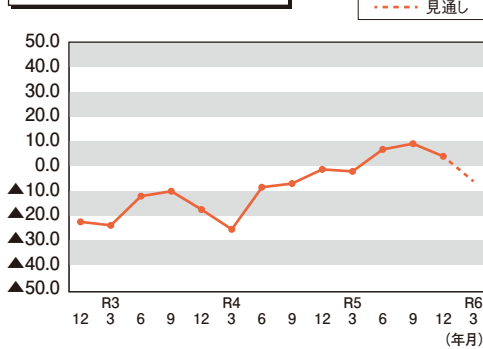


経営上の問題点(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
原材料高	31.5	32.1
売上の停滞・減少	26.8	22.9
利幅の縮小	24.1	22.1

当面の重点施策(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
経費を節減する	60.9	53.5
人材を確保する	31.8	28.5
販路を広げる	28.8	31.8

札幌圏

業況判断DIの推移



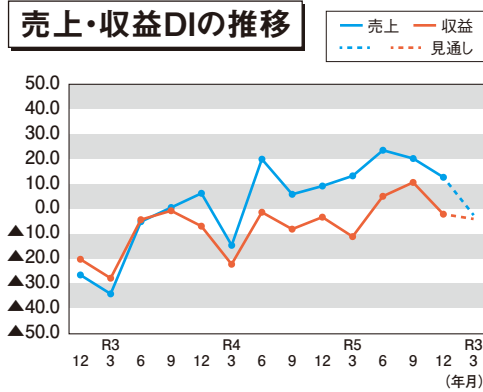
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は3.9と前期から5.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.5ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



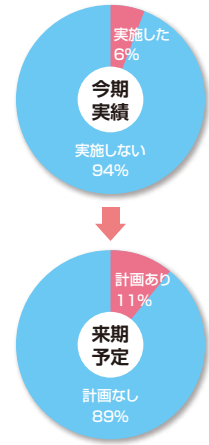
○売上DI～低下↓

- ・今期は12.2と前期から8.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から14.8ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲2.2と前期から12.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から1.8ポイント低下する見通し。

設備投資動向



(%)

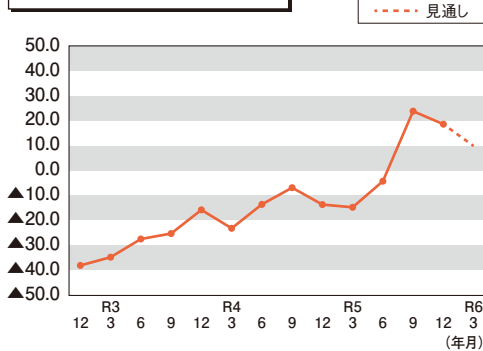
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
原材料高	29.4	28.9
売上の停滞・減少	27.2	23.4
同業者間の競争激化	21.7	26.4

(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	59.1	52.8
販路を広げる	29.8	35.7
人材を確保する	27.7	26.0

後志圏

業況判断DIの推移



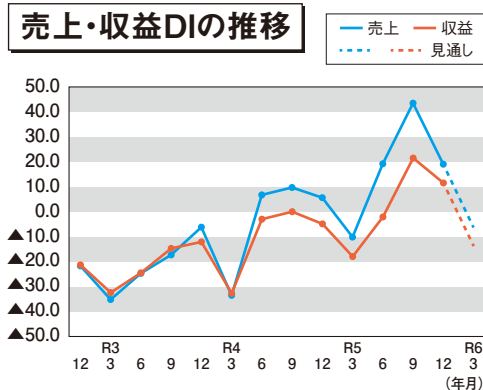
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は18.7と前期から5.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.8ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



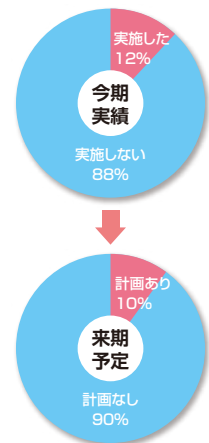
○売上DI～低下↓

- ・今期は23.0と前期から20.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から29.4ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は11.6と前期から9.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から25.5ポイント低下する見通し。

設備投資動向



(%)

経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
原材料高	36.2	39.0
利幅の縮小	29.5	24.8
売上の停滞・減少	25.7	21.9

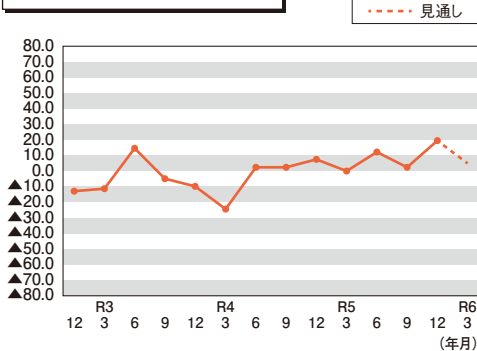
(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	64.8	55.2
人材を確保する	41.0	34.3
販路を広げる	26.7	22.9

製造業

札幌圏 (調査数41社・回答数41社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は19.5と前期から17.1ポイント上昇した。
- ・来期は今期から14.6ポイント低下する見通し。

企業のコメント

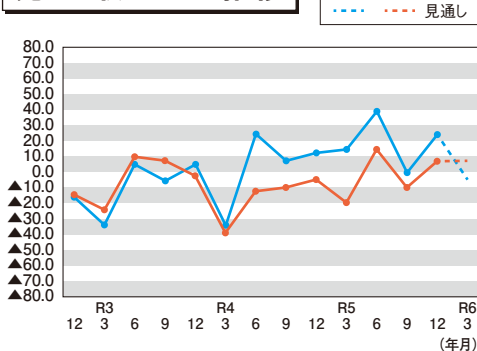
・チラシ・ポスター・シール

コロナ5類移行後、業況は回復傾向にあるも、原材料の値上がりで厳しい状況が続く。販路開拓と価格転嫁が課題。

・鉄筋加工

受注状況は安定しており業況は堅調に推移している。人材確保に向けた取組みに注力している。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は24.4と前期から24.4ポイント上昇した。
- ・来期は今期から29.3ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は7.3と前期から17.1ポイント上昇した。
- ・来期は7.3ポイントと横ばいの見通し。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	61.0
人手不足	29.3
売上の停滞・減少	26.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	65.9
販路を広げる	46.3
人材を確保する	26.8

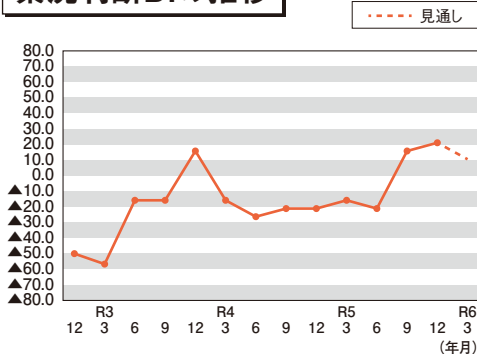
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	7.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	17.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数19社・回答数19社・回答率100%)

業況判断DIの推移



コメント



○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は21.1と前期から5.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から10.6ポイント低下する見通し。

企業のコメント

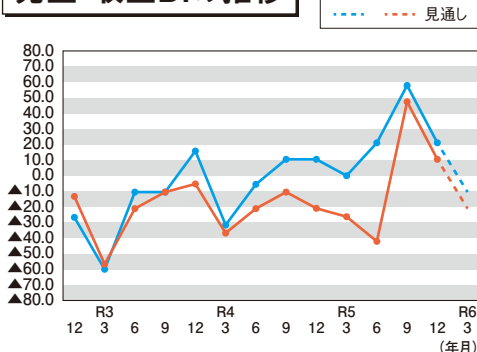
・水産物(数の子他)

お正月向け商品の製造により売上高は増加しているが、資材高騰により業況は良くならない。

・碎石

近隣町村の開発工事は活発で、当面は碎石需要が高止まりの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は21.1と前期から36.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から31.6ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は10.5と前期から36.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から31.6ポイント低下する見通し。

経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	68.4
利幅の縮小	36.8
売上の停滞・減少	26.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	73.7
販路を広げる	52.6
人材を確保する	42.1

設備投資動向(%)

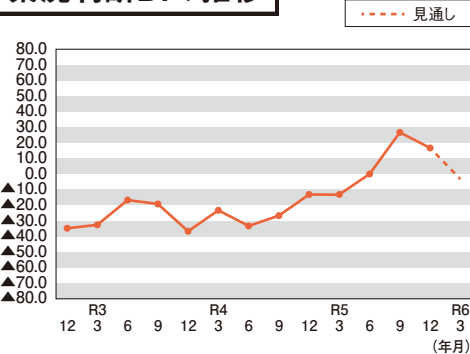
今期設備投資を実施した	10.5
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	15.8

(不動産、機械、事務機器、車両等)

卸売業

札幌圏 (調査数30社・回答数30社・回答率100%)

業況判断DIの推移



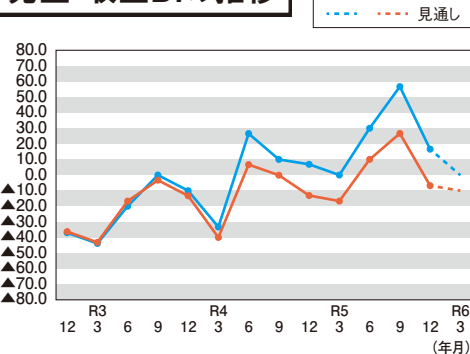
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は16.7と前期から10.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から20.0ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は16.7と前期から40.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から16.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲6.7と前期から33.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から3.3ポイント低下する見通し。

企業のコメント

- ・**建設資材**
資材高騰の影響により仕入価格の上昇分を卸売価格に全ては転嫁できず、利幅は縮小している。
- ・**鶏卵**
販売数量は若干減少したが、価格高騰により増収推移。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	36.7
同業者間の競争激化	36.7
仕入先からの値上げ要請	33.3

当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	70.0
経費を節減する	46.7
人材を確保する	30.0

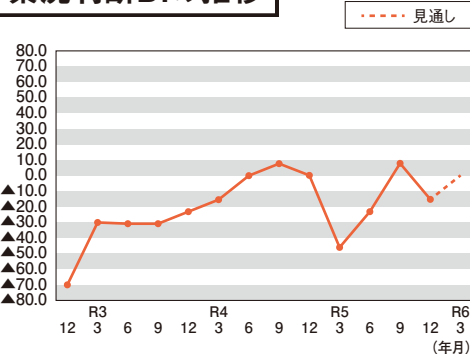
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	10.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	13.3

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数13社・回答数13社・回答率100%)

業況判断DIの推移



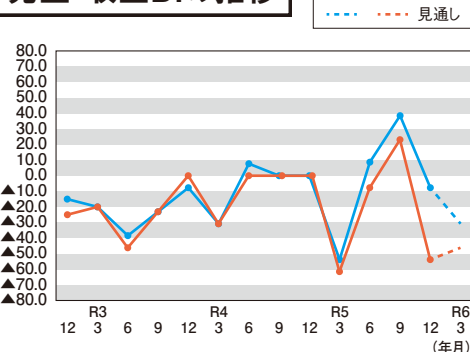
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲15.4と前期から23.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.4ポイント上昇する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は▲7.7と前期から46.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から23.1ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲53.8と前期から76.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.6ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

- ・**プラスチック製品**
仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁するも、諸経費増加により利益確保が難しい。
- ・**水産品(カニ他)**
観光客も戻り水産物の売上は好調。しかし冬期間の売上減少も視野に入れ積極的に営業活動中。

経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	46.2
同業者間の競争激化	38.5
利幅の縮小	38.5

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	76.9
販路を広げる	53.8
情報力を強化する	30.8

設備投資動向(%)

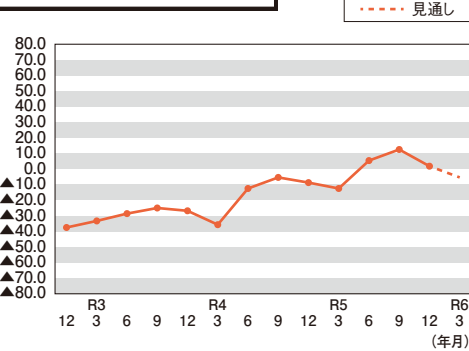
今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.7

(不動産、機械、事務機器、車両等)

小売業

札幌圏 (調査数56社・回答数56社・回答率100%)

業況判断DIの推移



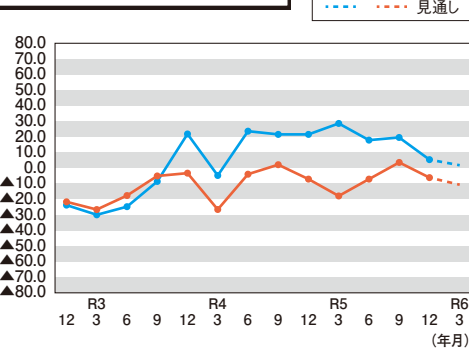
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は1.8と前期から10.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から7.2ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は5.4と前期から14.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から3.6ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲5.4と前期から9.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.3ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・生花

生花の消費量は緩やかに減少している。経費が増加しているため、値上げを検討。イベントで花を使用する機会も増え、売上増に期待。

・本文房具

書籍は電子化等により売上減少傾向にある。また文具の値上がりも影響し利益確保が厳しい。

経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	39.3
売上の停滞・減少	37.5
同業者間の競争激化	28.6

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	73.2
品揃えを改善する	21.4
宣伝・広告を強化する	19.6

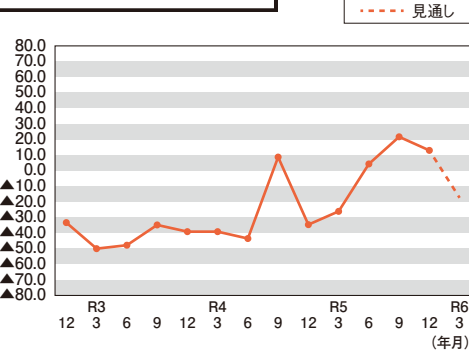
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	1.8
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



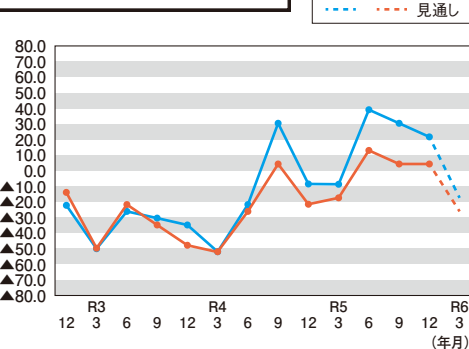
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は13.0と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から30.4ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は21.7と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から39.1ポイント低下する見通し。

○収益DI～横ばい→

- ・今期は4.3と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から30.4ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・精肉

売上、利益は増加傾向であるが、仕入値の増加が続いており、利幅を維持できるか不透明。

・米・酒

仕入価格の上昇に伴い販売価格も上昇している。地域高齢化の影響もあり、売上は減少傾向にある。

経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	39.1
商圏人口の減少	39.1
人手不足	34.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	56.5
人材を確保する	30.4
品揃えを改善する	26.1

設備投資動向(%)

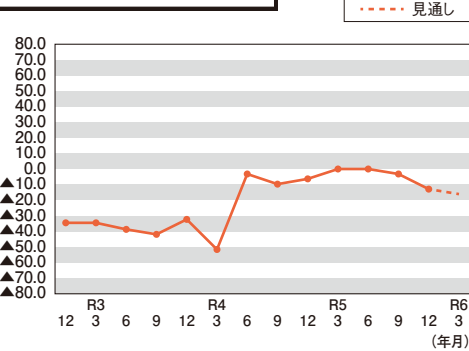
今期設備投資を実施した	4.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

サービス業

札幌圏 (調査数31社・回答数31社・回答率100%)

業況判断DIの推移



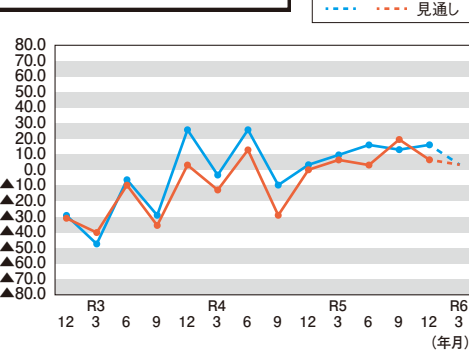
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲12.9と前期から9.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から▲3.2ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は16.1と前期から3.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から12.9ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は6.5と前期から12.9ポイント低下した。
- ・来期は今期から3.3ポイント低下する見通し。

企業のコメント

- ・**飲食店**
原材料や光熱費の上昇分を価格に十分転嫁できず、収益を圧迫している。
- ・**警備**
警備業界全体的に人手不足であり人員の確保が最優先。人手不足が解消できればイベント行事も増えているため更なる売上増加が見込まれる。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	41.9
人手不足	32.3
売上の停滞・減少	29.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	54.8
人材を確保する	35.5
販路を広げる	29.0

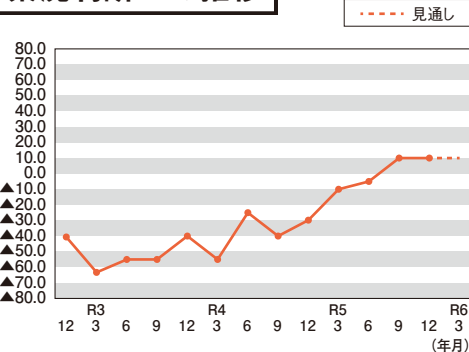
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	9.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	12.9

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



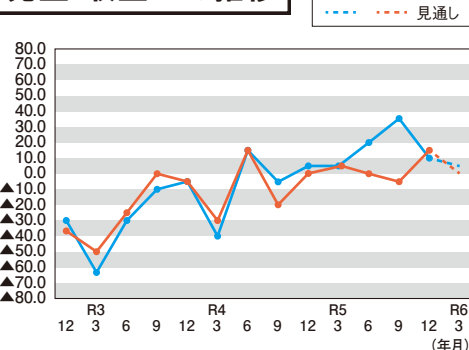
コメント



○業況判断DI～横ばい→

- ・今期は10.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は10.0ポイントと横ばいの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は10.0と前期から25.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は15.0と前期から20.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から15.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

- ・**飲食業**
コロナ後、既に客数は上昇傾向にあり、今冬はほぼコロナ前の水準に戻りつつある。
- ・**ホテル**
インバウンドの回復に伴い宿泊客は増加傾向にあるものの、人件費の高騰により利益率は減少している。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	55.0
利幅の縮小	45.0
材料価格の上昇	45.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.0
人材を確保する	50.0
販路を広げる	35.0

設備投資動向(%)

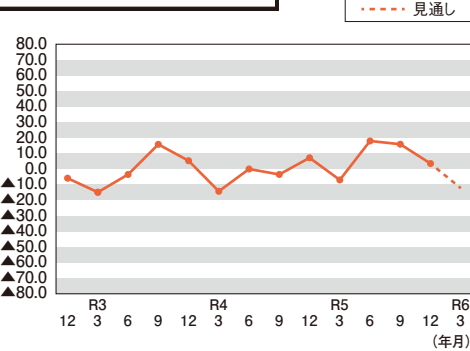
今期設備投資を実施した	25.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	10.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

建設業

札幌圏 (調査数57社・回答数57社・回答率100%)

業況判断DIの推移



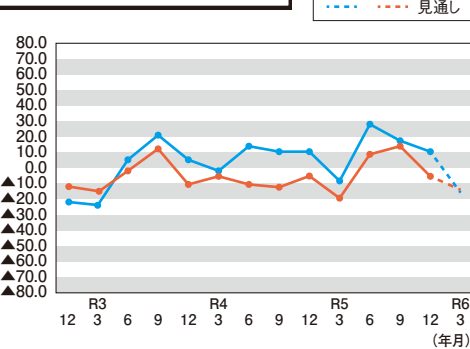
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は3.5と前期から12.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.8ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は10.5と前期から7.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から26.3ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲5.3と前期から19.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.7ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・土木工事

人手不足が深刻であり特に若手が定着しない。給与待遇の改善、コミュニケーションなど工夫が必要。

・空調設備

受注は前年と同じ状況だが、経費増加に伴い収益は悪化している。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	54.4
人手不足	47.4
利幅の縮小	22.8

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	49.1
人材を確保する	40.4
販路を広げる	26.3

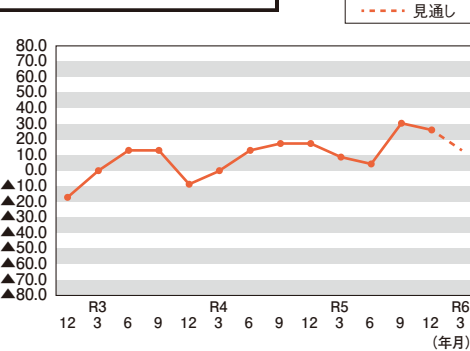
設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	5.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	7.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

業況判断DIの推移



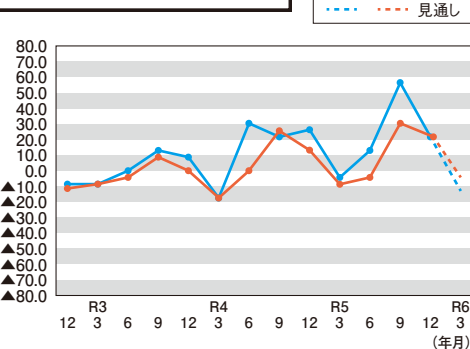
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は26.1と前期から4.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.1ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は21.7と前期から34.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から34.7ポイント低下する見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は21.7と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から26.0ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・土木工事

燃料などの値上がりはあるが、現行の請負価格に転嫁できている。長期工事も多く当面は問題なし。

・木造建築

アフターコロナにより受注回復するも、人手不足により受注ロスが発生している。資材の値上がりに対する受注価格の見直しは進んでいる。

経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	69.6
人手不足	60.9
下請の確保難	21.7

当面の重点施策(複数回答)(%)

人材を確保する	69.6
経費を節減する	65.2
技術力を高める	26.1

設備投資動向(%)

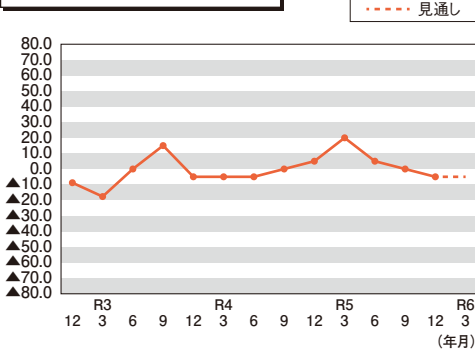
今期設備投資を実施した	17.4
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	17.4

(不動産、機械、事務機器、車両等)

不動産業

札幌圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

業況判断DIの推移



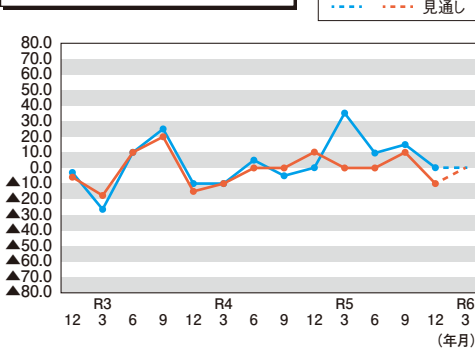
コメント



○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲5.0と前期から5.0ポイント低下した。
- ・来期は▲5.0ポイントと横ばいの見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から15.0ポイント低下した。
- ・来期は0.0ポイントと横ばいの見通し。

○収益DI～低下↓

- ・今期は▲10.0と前期から20.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から10.0ポイント上昇する見通し。

企業のコメント

・販売・仲介

物件価格が高騰し仕入が困難な状況。競争も激しく、情報力や人員の強化が必要。

・販売

住宅建築価格の高騰から、新築販売数は大幅に減少。リフォーム、リノベーション等で売上・利益をカバーしている。

経営上の問題点(複数回答)(%)

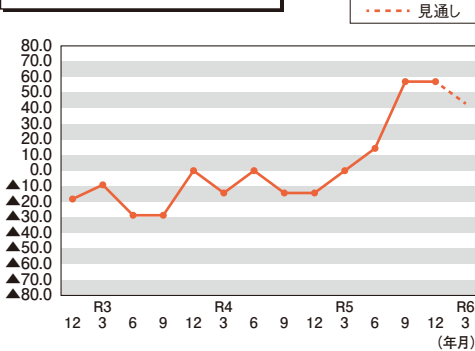
同業者間の競争激化	40.0
商品物件の高騰	40.0
売上の停滞・減少	25.0

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.0
情報力を強化する	50.0
販路を広げる	30.0

後志圏 (調査数7社・回答数7社・回答率100%)

業況判断DIの推移



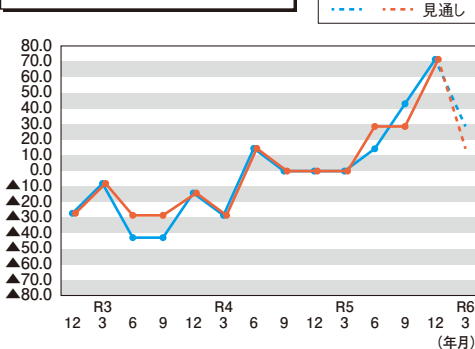
コメント



○業況判断DI～横ばい→

- ・今期は57.1と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から14.2ポイント低下する見通し。

売上・収益DIの推移



コメント



○売上DI～上昇↑

- ・今期は71.4と前期から28.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期から42.8ポイント低下する見通し。

○収益DI～上昇↑

- ・今期は71.4と前期から42.8ポイント上昇した。
- ・来期は今期から57.1ポイント低下する見通し。

企業のコメント

・売買・仲介

競売物件も高く、手が届かない。当面は仲介等が中心となる見通し。

・賃貸

リゾートホテルの従業員が夏以降増加しており、入居するアパートが不足の状態。

経営上の問題点(複数回答)(%)

人手不足	42.9
商品物件の高騰	42.9
同業者間の競争激化	28.6

当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	57.1
販路を広げる	42.9
宣伝・広告を強化する	42.9

特別調査

「2024年(令和6年)の経営見通し」

回答数340社(札幌圏・後志圏) 回答率100%

問1

貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 非常に良い	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
2. 良い	1.7%	2.3%	1.3%	5.9%	2.5%	0.0%	2.4%
3. やや良い	11.7%	14.0%	7.6%	9.8%	7.5%	14.8%	10.0%
4. 普通	36.6%	25.6%	35.4%	31.4%	42.4%	33.3%	35.3%
5. やや悪い	36.7%	44.1%	45.5%	35.3%	33.8%	48.2%	39.6%
6. 悪い	13.3%	14.0%	7.6%	17.6%	12.5%	3.7%	11.8%
7. 非常に悪い	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.6%

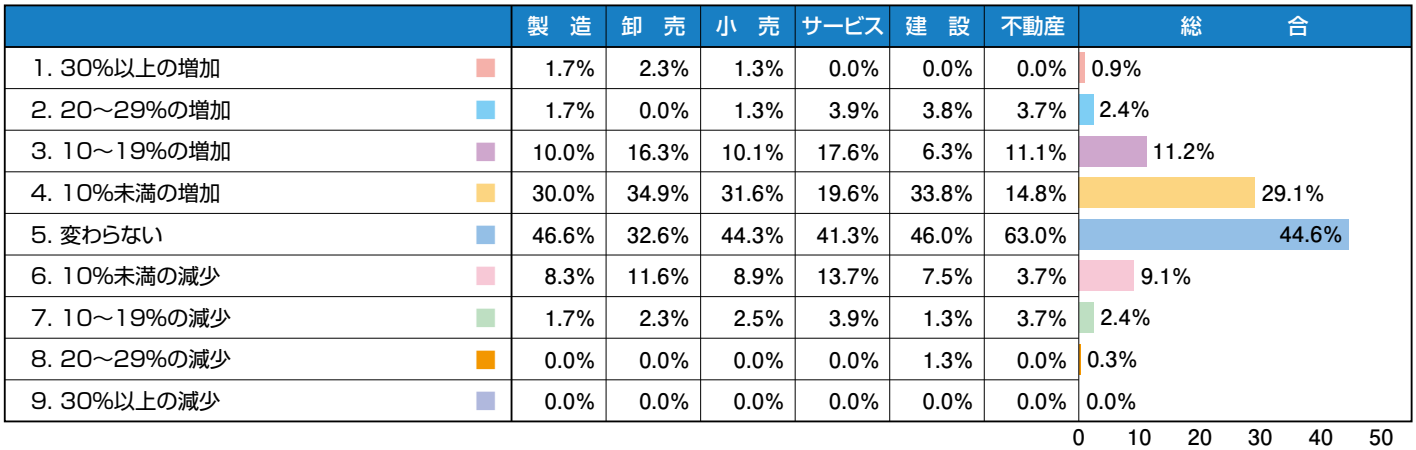
問2

貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
1. 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 良い	3.3%	4.7%	3.8%	7.8%	1.3%	3.7%	3.8%
3. やや良い	8.3%	16.3%	10.1%	17.6%	12.5%	11.1%	12.4%
4. 普通	70.0%	51.1%	58.2%	43.3%	61.1%	48.2%	57.1%
5. やや悪い	15.0%	25.6%	22.8%	23.5%	23.8%	37.0%	23.2%
6. 悪い	1.7%	2.3%	5.1%	7.8%	1.3%	0.0%	3.2%
7. 非常に悪い	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%

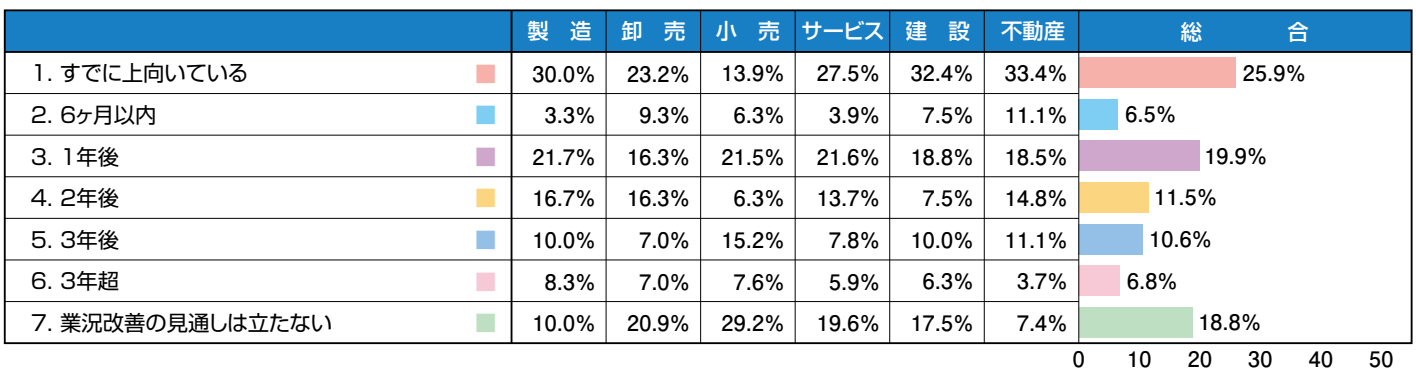
問3

2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



問4

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5

2024年を展望したとき、価格面の動向をどのように見通していますか。販売価格、仕入価格についてもっとも当てはまるものをお答えください。

